

# 環境基本方針と環境行動計画

「FDKグループは自然を愛します、かぎりある地球のために」のスローガンのもと、グループ全体で環境保全活動を展開しています。

## FDKグループ環境方針

企業の事業活動に伴う環境への取り組みは、国や地方の規制に対応するだけでなく、地球レベルの視点で主体的に考え、地球温暖化対策、廃棄物の削減、化学物質の管理の徹底などに対して行動しなければならないと考えています。それは、持続可能な社会の構築という大きな命題への共通認識でもあると考えています。

FDKグループは、自社の活動に加え、富士通株式会社とグループでの活動推進に取り組みます。そのために環境活動の根本である環境方針を統一しました。これは、自主的な環境負荷低減とグループでの活動による相乗効果により、さらに充実した環境活動の推進を狙ったものです。

### 理念

FDKグループは、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、IT企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守するとともに、自主的な環境保全に努めます。

さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

### 行動指針

1. 製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
2. 省エネルギー、省資源および3R(リデュース、リユース、リサイクル)を強化したトップランナー製品を創出する。
3. 有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
4. IT製品とソリューションを通じ、お客様や社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
5. 環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす。
6. 従業員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じ環境の改善に努める。

### スローガン

FDKグループは自然を愛します  
かぎりある地球のために

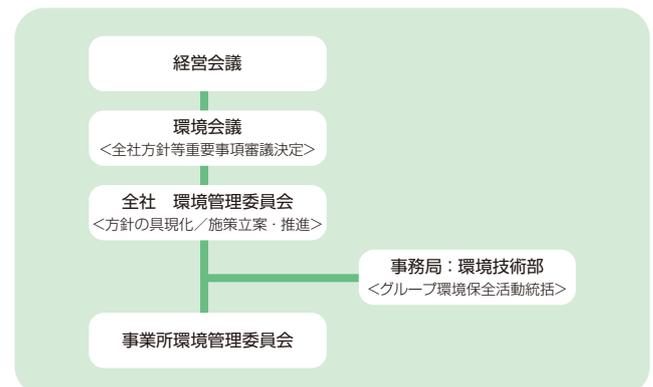
### 環境マネジメントサイクル



### 組織と体制

環境活動における方針などの重要事項については「環境会議」で審議します。ISO14001の環境マネジメントシステムの単位で構成された「事業所環境管理委員会」で、方針・施策についての具体的な実行計画を策定し、マネジメントのPDCA(Plan,Do,Check,Action)のサイクルによって、スパイラルアップを目指した活動を展開しています。

### 環境組織



## 第四期環境行動計画

FDKグループでは、工場でのマネジメントシステム構築から、グループ全体でのマネジメントシステム構築による環境経営の推進へとその範囲を拡大してきました。2007年度からは、第四期環境行動計画に基づいた活動を展開しています。現在、環境行動計画は国内グループの目標となっており、海外グループを含めた目標設定は今後の課題と認識しています。

### 活動の重点

#### 1. 環境経営の枠組み強化

グループ全体としての活動の基礎となる環境経営の枠組みを強化し、本社・営業などの非生産部門や海外グループとの連携強化とレベルアップを図ることで、よりグループ一体となった活動を展開していきます。

#### 2. 製品環境対策による製品価値の向上

地球規模での環境破壊や温暖化が危惧されている中、FDKグループでは製品使用時のCO<sub>2</sub>の抑制や省資源などで貢献できるよう、さらに製品環境対策に力を入れ、当社グループの製品価値を向上させていきます。

### 環境行動計画の変遷



### 第四期環境行動計画と2007年度の活動実績

達成状況 ○：目標達成，△：一部未達，×：未達

項目	行動計画の目標(2007～2009年度)	2007年度目標	2007年度実績	達成状況	関連ページ
環境経営の強化	環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みの強化				
	(1) オフィス部門のレベルアップ	・本社、営業拠点をFDKEMS*1レベルⅠからⅡに向上	・本社、営業拠点においてFDKEMSレベルⅡを達成	○	P22
	(2) 海外生産拠点との連携強化	・活動内容および活動データ把握内容の充実と環境管理体制の確認	・活動内容およびパフォーマンスデータ把握の充実および環境管理体制の確認実施	○	P22
グリーン調達	取引先における環境マネジメントシステム(EMS)を推進する	・10社以上の構築	・56社構築	○	P23
リスクマネジメントの強化	環境公害防止体制および運用の強化	・公害防止、法令遵守管理責任体制の見直し	・公害防止、法令遵守管理責任体制の見直し実施	○	P24
製品の価値向上	新規開発した製品を対象に、環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を2009年度末までに20%以上とする	・スーパーグリーン製品の開発活動の展開	・スーパーグリーン製品の対象製品を明確にした活動を展開	○	P25
	新規開発した製品を対象に、2005年度製品と比較して環境効率ファクター2を2009年度末までに達成する	・環境効率ファクター2*2達成計画策定と製品開発活動の展開	・新環境効率ファクター2の達成計画を策定し製品開発を展開	○	P25
地球温暖化対策	エネルギー消費CO <sub>2</sub> 排出量を、2010年度末までに2006年度実績比2%削減する('06年度実績26,239トン) ※電力からCO <sub>2</sub> への換算係数は0.555トン/Mwhを採用	・26,108トン以下('06年度比0.5%削減)	・24,543トン('06年度比6.5%削減)	○	P27
	輸送CO <sub>2</sub> 排出量の削減	・輸送に係るCO <sub>2</sub> 削減活動の推進 ・輸送量(トンキロ)把握システム構築	・非満載のトラックチャーター便を12便/月削減 ・輸送量(トンキロ)把握システム構築完了	○	P28
グリーンファクトリー	VOC(揮発性有機化合物)の排出量を、2010年度末までに2000年度実績比30%削減する('00年度実績44.3トン)	・56.0トン以下('00年度比26.4%増加)	・31.2トン('00年度比29.5%削減)	○	P29
	廃棄物発生量を、2009年度末までに2006年度実績比3%削減する('06年度実績1,294トン)	・1,281トン以下('06年度比1.0%削減)	・1,079トン('06年度比16.6%削減)	○	P30

\*1 FDKEMS：FDKグループ独自の環境マネジメントシステムでISO14001の基本的な要求事項についてマネジメントを行うもの。

\*2 環境効率ファクター2：製品の環境負荷に対する製品の価値を2倍以上に向上させること。